

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	プロパティマネジメント小委員会	主 査 名： 田村 誠邦 就任年月： 2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：古阪 秀三 主 査 名：
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>設置目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築におけるプロパティマネジメントの総合的な検討を通し、ストック時代に対応した建築学のあり方、学問・教育の再編の方向を示唆する ・ ストック時代に対応するための建築学と、建築ストックを法律・経済・工学から総合化してきた不動産学との新たなシステムの統合を目指す <p>当面は、プロパティマネジメントの視点から以下の点を検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築価値論の構築；ストック型社会に対応した建築の価値とは何か。価値を上げる仕組みと価値を評価する仕組み。 建築物の価値に関する基本概念の整理 建築物の価値形成要因の検討 建築物の経済価値評価手法の検討 2. ストック型社会に対応した職能とそのための教育のあり方 3. ストック型社会に対応した建築価値増加新手法の開発と提案 4. 上記を踏まえたあらたな法制度再編の方向の提示 <p>2008 年度：上記の課題整理を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：2008 年度中は無し	
	<p>主査：田村誠邦(アークブレイン・不動産鑑定士)</p> <p>幹事：秋山哲一(東洋大学工学部建築学科)</p> <p>幹事：齊藤広子(明海大学不動産学部不動産学科)</p> <p>委員：巽 和夫 (京都大学工学部建築学科名誉教授・巽和夫建築研究所)</p> <p>委員：安藤正雄(千葉大学工学部デザイン工学科)</p> <p>委員：中城康彦(明海大学不動産学部不動産学科・不動産鑑定士)</p> <p>委員：三橋博巳(日本大学大学院理工学研究科不動産科学専攻)</p> <p>委員：浦江真人(東洋大学工学部建築学科)</p> <p>委員：藤本秀一(建築研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2008 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1 .各委員の研究成果の発表及び討議を通し、2008 年度の活動計画としてあげた 1 ~ 4 の活動計画のうち、1 及び 3 については、ほぼ、課題の整理を終了した。 2 . 2009 年度の学会大会での PD の実現に向け、今後の課題を整理した。
委員会活動の問題点・課題	<p>今後の課題としては、以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 2009 年度の学会大会での PD の実施（中間取り纏めとして） 2 . 1 ~ 4 の活動計画について、仮設の提示と検証の作業を実施する 3 . 実作業のためのWGの立ち上げを検討する

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。